

舞鶴市議会議員 川口たかふみ 活動報告

住みたいまち「舞鶴」の実現

発行／川口たかふみ後援会 〒625-0014 舞鶴市字鹿原8-15 Tel・Fax(0773)62-2002 E-mail : maizuru_taka_kawaguchi_2002@outlook.jp



ご挨拶

陽春の候 皆様方におかれましては、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

平素から、「川口たかふみ」及び「川口たかふみ後援会」に対しまして、格別のご高配を賜っております事に、衷心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束に至っておらず、舞鶴市でも新たな感染者が確認されております。患された方々の一日でも早い回復をお祈りいたしますとともに、医療従事者をはじめ感染症対策に携わられております皆様に対し、心より感謝と敬意を表します。

去る2018年11月舞鶴市議会議員一般選挙において、市政の場へと押し上げていただきましたのも、皆様方の温かいご支援とご教示の賜物であることを忘れず、3年目の活動に邁進してまいります。引き続きのご指導、ご鞭撻をいただけますよう御願い申し上げます。

舞鶴市議会議員 川口 たかふみ

川口たかふみ 議員履歴

所属会派	創政クラブ議員団 (2019.11～2020.11 創政クラブ議員団幹事)
委員会	予算決済委員会 委員
常任委員会	議会運営委員会 委員
	産業建設委員会 委員
	市民文教委員会 委員
特別委員会	福祉健康委員会 副委員長
	原子力防災・安全等特別委員会 委員(2019.11～副委員長)
	議会活性化特別委員会 委員
	市内造船事業に関する調査特別委員会 委員
	新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 委員

継承
そして前へ！



舞鶴市議会議員 川口たかふみ プロフィール

新舞鶴小学校～志楽小学校～白糸中学校 卒業
1981年3月 東舞鶴高等学校 卒業
1985年3月 国士館大学法学部 卒業
同 海上自衛隊入隊(85期一般幹部候補生)
2007年8月～ 潜水艦あらしお艦長
2009年7月
2017年4月 海上自衛隊 定年退官
JMUディフェンスシステムズ(株)入社
舞鶴営業室 情報セキュリティ担当
2018年9月 同上 退社
2018年11月 舞鶴市議会議員 初当選

3月定例会一般質問に登壇（質問と答弁の概要）

*公式の議事録ではありません。
詳細は舞鶴市HPでご確認ください。

【舞鶴市安心生活支援システムについて】

システムを必要とする方には、まず装置を設置する方策を探るべき！

質問 システムの概要を問う。

答弁 安心生活システムは、一人暮らし等の高齢者が、体調不良等による緊急時の連絡手段として確保し、安心して生活できる環境を作ることを目的に、24時間365日対応の緊急通報と健康・医療等の相談が可能な装置（通報装置）を設置するもの。装置には、相談ボタンと緊急ボタンがあり、相談ボタンが押された場合看護士が相談に応じ、緊急ボタンが押された場合は、電話により救急要請や登録した協力員への駆け付け依頼の判断を行う。また、月に一度本人宅に電話をし、通信の確認と状況把握を行っている。

質問 利用申請時には、協力員の登録が必要だが、頼める人がいないというケースでも、システムが利用できるようにならないか。

答弁 市としては、単なる緊急通報装置としてだけでなく、住み慣れた地域での継続した生活を支援するために、協力員の選定をきっかけに、地域での見守り合い・支えあいが広がることも期待している。具体的な申請手続きはケアマネジャーや地域包括支援センター職員が支援するが、「協力員が見つからない」との相談にも対応している。

質問 このシステムは非常に心強いものである。システムを必要としている・利用したいと感じ申請された方に対しては、「必要な方にはまず装置を設置して」「並行して協力員の方を探す」という方策を探るべきと考えるが、如何。

答弁 体調や精神面での不安を抱えながら、お一人で暮らしておられる高齢者にとっては、24時間365日の相談支援体制をできるだけ早期に整えることは大変重要であると考える。

ご本人やご家族、関係者とともに協力員を見つける努力をする一方、同時進行で装置の手続きができるよう、対応して行く。

【不燃ごみ収集について】

穴を開けずに、スプレー缶等が出せるようになる時期はいつ頃なのか？

質問 令和2年9月定例会で「スプレー缶等の処置では事故防止の観点から、国では穴を開けずに排出できる体制の整備について検討するよう通知が出されている。」このため「舞鶴市においてもエアゾール製品等(スプレー缶等)は、穴を開けずに回収する方向へ舵を取るべきと考える。」との質問を行った。これに対し「機器の導入などについて検討してまいりたい。」との答弁を得たが、導入される機器や時期を問う。

答弁 本市においては市民の皆様が穴を開けずに出していただけるよう、使用済みスプレー缶等を安全に処理できる機器を、令和3年度中には導入予定としている。

質問 具体的な排出要領をどのように考えているかを問う。

答弁 令和3年度中に予定している機器の導入に合わせ、有害ごみとして、使い切って穴を開けずに出せるようにするなど、排出ルールの変更を検討していく。

スプレー缶に穴開けをせずに排出できる体制を整備することは、利便性の向上が図られることはもちろんだが、その第一は「事故防止」にある。できる限り早期に進めていただきたい。

緊急通報
装置



【鳥獣被害等について】

有害鳥獣の捕獲 一層の強化が必要!

質問 第2基舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略において「付加価値の高い農林水産業の振興」「まちなか・農山漁村への移住促進と活性化」を掲げ、農林水産業の振興、農山漁村の活性化を目指している舞鶴市にとって、鳥獣被害を局限することは重要課題である。

鳥獣被害の実態を問う。

答弁 市内の有害鳥獣による農作物の被害額は平成27年の3,586万円から令和元年は1,714万円まで約52%減少。有害鳥獣の捕獲と進入防護柵設置が進んだことなどによるものと認識している。また、平成30年にサルに噛まれる被害が1件報告されているが、それ以降人的被害は発生していない。

質問 有害鳥獣の捕獲目標・実績を問う。

答弁 令和2年度目標と実績(10月) (表:令和2年度捕獲目標等)

末現在)は表のとおり。いずれも計画の目標に達していないため、今後も獣友会との連携のもと捕獲強化に努めていく。

種類	捕獲目標	捕獲実績
イノシシ	2,000	1,614
ニホンジカ	1,000	925
ニホンザル	50	23
アライグマ	30	6
ヌートリア	30	13

質問 イノシシ、ニホンジカについては一定の捕獲実績が認められるが、アライグマ、ヌートリアについては、市の有害鳥獣被害防止計画に「市内からの根絶を目指す」とある。一層の捕獲強化が必要であり、令和3年度においてどのように取り組むのか、方策を問う。

答弁 獣友会員による捕獲の他、人家周辺等への出没に対しては、市が設置する小型檻による捕獲に取り組んでいるところであります。引き続き有害個体の捕獲と被害軽減に努めていく。

定例会での質問風景



【教育現場の現況等について】

質問 GIGAスクール構想の進捗状況を問う。

答弁 本年3月末までにすべての作業が完了予定。ICT支援員は、予定どおり4月からの配置を予定。すべて概ね計画どおり進捗。

質問 教科担任制に係る本市の現状を問う。

答弁 小中一貫教育の導入に合わせ、教科担任制に向けた取り組みを進めてきた。小学校では担当する教科を学級間や学年間で交換する交換授業も可能な範囲で行っている。国が導入を検討している教科担任制の考え方方に準じた取り組みと認識している。

GIGAスクール構想、教科担任制いずれも人員・人材の確保が必要である。まずは子供たちの学習環境の整備を第一に進められたい。

【市の管理河川について】

質問 令和3年度の維持修繕等の計画を問う。

答弁 福井川、榎川の護岸改修を予定している。危険度に応じてと言うか、優先順位を決めて浚渫や護岸改修を計画的に実施していく。

「こうすべきでは」「このような案はどうか」など、提案・提言型の質問に努めています。

川口たかふみ 活動の1コマ

3/20

自民党 京都府第5選挙区(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝郡)支部長

本田太郎衆議院議員の

「舞鶴後援会」設立役員会に参加



本田議員は「京都北部に誇りと元気を!」を掲げ、国道27号線青葉トンネル(吉坂~高浜)改良や京都舞鶴港整備に尽力いただく等、舞鶴の発展に大きく寄与されています。この度の舞鶴後援会発足にあたり、同会の趣旨にご賛同いただき、ご入会いただけたらと考え「後援会入会のしおり」を同封させていただいております。是非ご協力をお願い申し上げます。

3/21

文化公園体育館で行われた
「新型コロナワクチン集団接種模擬訓練」に参加

舞鶴市ではいち早く「安全で円滑」な接種を実施するため準備が進められています。21日には、65歳以上の高齢者を対象とする集団接種の模擬訓練が実施され、接種してもらう住民役約80名の一人として参加しました。

バスで移動(迎)→入り口での検温→看護師の問診→医師の予審→接種→済証交付・経過観察→バスで移動(送)本番同様の手続きが確認されました。



川口たかふみ後援会

ご入会のお願い

誠実で何事にも一生懸命取り組む人柄と、海上自衛隊・潜水艦艦長のキャリア基礎に、私たちのまち舞鶴の発展に取り組む「川口たかふみ」君をサポートし、舞鶴のために皆様と一緒に「川口たかふみ」君を育てていく後援会にご賛同頂き、ぜひご入会いただきますようお願い申し上げます。

川口たかふみ後援会 会長 福村 てるし

川口たかふみ後援会事務所 ご案内

〒625-0014 舞鶴市字鹿原8-15
Tel・Fax (0773)62-2002
E-mail: maizuru_taka_kawaguchi_2002@outlook.jp

	月	火	水	木	金
9時～12時	○	○	○	×	○
13時～15時	○	×	○	×	○

*祝日休

*業務の都合により時間内でも不在の場合もあります。ご了承ください。



自治会・サークルなど、どのような集まりでもお声掛け・お招きください。皆様のご意見を伺わせていただきます。